

当財団は、2011年4月より、財団法人中部空港調査会（2011年3月解散）から航空・空港に関する調査研究事業を引き継いで、中部圏の航空・空港の発展に資する調査研究・普及啓発に取り組んでおります。

近年、世界の航空自由化・オープンスカイの進展とともに、規制緩和による自由化やLCCと呼ばれる格安航空会社の台頭など、日本の航空を取り巻く環境は劇的に変化しており、地域における空港のあり方も大きく変革してきています。

中部圏に立地する8空港（中部国際空港、松本空港、富山空港、能登空港、小松空港、静岡空港、県営名古屋空港、福井空港）について、その歩みや現状を関係者のインタビューを交えて紹介します。

今回で最終回となる第8回は、福井空港と県営名古屋空港です。

第8回 福井空港、県営名古屋空港

I. 福井空港 ー地域とともに生きる空港ー



「写真提供／中部空撮」

1. 概要と沿革

（1）定期便のない空港

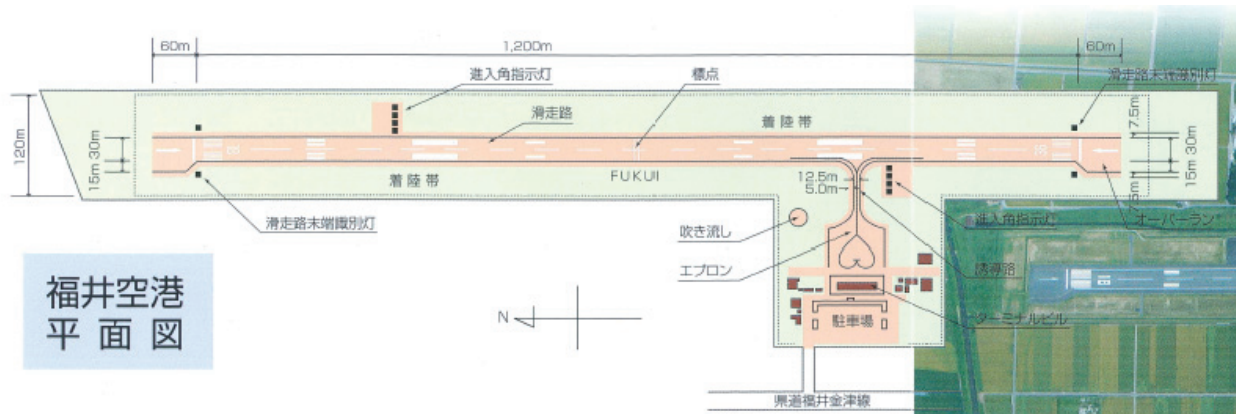
福井空港は、北陸地方では小松、富山に次ぐ3番目の空港として1966年に開港した。福井市に北接する坂井市春江町に所在し、空港周辺はもともと田園地帯だったが、近年では急速に宅地化が進み、空港の至近まで宅地造成が進んでいる。

1964年に運輸省の飛行場設置許可があり、同年5月から約2年間の工事ののち開港した。当初は福井-羽田便1日1往復の運航であったが、2年後の1968年には1日2往復に増便され、利用客数も順調に伸びていった。しかし、福井市からわずか40kmの小松空港（石川県）が1973年にジェット化を実現し、小松-羽田間が1時間で結ばれるようになると、福井空港の利用客は激減した。翌年12月には福井-羽田便が休止され、福井-名古屋

便1往復（名古屋で羽田便に乗り継ぎ）の運航となり、1976年3月末には定期便が休航となった。それ以降、現在に至るまで定期便は復活していないが、2003年から2009年までは年に数本のチャーター便が運航された。

1985年にはジェット化に対応した拡張整備計画（滑走路の2,000m化）が策定されたが、周辺住民の同意が得られなかったため、2003年に中止された。その後も空港利用拡大の取り組みは進められ、1991年に福井県警察航空隊のヘリコプター、1997年に福井県防災航空隊のヘリコプターが配備されるなど、防災拠点としての役割を担うようになった。また、遊覧飛行や航空写真撮影などの小型機の基地、グライダー飛行技術の訓練施設、操縦士ライセンス取得の訓練施設、各種イベントなどにも活用されている。

空港の総面積は269,556.10㎡で、基本施設とし



福井空港
平面図

(出典：福井県土木部港湾空港課)

では滑走路が1本で長さ1,200m、幅30mとなっている。2006年には、管制業務が中部国際空港からの遠隔管制（RAG化^(※1)）に移行された。

(2) 交通アクセス

道路アクセスは、福井空港の東へ約8kmに位置している北陸自動車道の丸岡ICが最寄りであり、福井市中心部までは約10kmと、比較的便利な立地である。また、鉄道の最寄駅はJR北陸本線の春江駅で、車で約5分の距離である。

空港への路線バスはなく、アクセスは自家用車もしくはタクシーに限られる。

(3) 福井空港利活用推進計画

2001年に福井空港拡張整備事業が凍結（2003年に中止）されたことを受け、空港の利活用を図りつつ県内の航空需要に対応すべく、福井県は、「福井空港利活用策検討委員会」を開催した。その報告書に基づき2003年3月に策定されたのが「福井空港利活用推進計画」で、現在の空港運営の基本となっている。

この計画には、「通勤航空（定期便）の就航実現」、「チャーター航空の就航実現」、「防災拠点としての活用」、「産業航空の利用促進」、「レジャー航空の利用促進」、「航空関連学校の誘致」、「イベントスペースの活用」の7つの利活用



(出典：福井県土木部港湾空港課)

策が示されている。

(4) スカイフェス

空の日（9/20）および空の旬間（9/20～30）にちなみ、1992年より空港でのイベントとして、「福井空港スカイフェス」が開催されている。2010年まで毎年開催、以後は隔年開催されており、次回は今年（2014年）の開催予定である。このイベントでは、セスナ機やヘリコプターの体験搭乗、複葉機のデモフライト、グライダーの曲芸飛行、滑走路ウォークなどのさまざまな催しがあり、毎

(※1) Remote Air-Ground Communicationの略。遠隔空港対空通信施設のことで、管制機関又は飛行場対空援助業務実施機関の設置されていない空港に設置され、当該空港を管轄する空港事務所若しくは、FSCの飛行場対空援助業務実施機関から遠隔運用されるVHFの空港用対空通信施設である。これにより要員が配置されていない空港等に離着陸する航空機との直接交信が可能となる。(出典：国土交通省 用語解説ページ)



スカイ・レジャー・ジャパン '10 in 福井

(出典：福井県土木部港湾空港課)

回10,000人ほどの来場者を集めている。

2010年には、スカイフェスとの共催という形で「スカイ・レジャー・ジャパン '10 in 福井」が開催された。スカイ・レジャー・ジャパンは、日本で最大級の航空スポーツイベントで、2日間に約33,000人の来場者があった。

2. 現況と課題

(1) 利用状況

1976年の定期便休航以後、着陸回数は年間3,000～8,000回で推移している。2012年の着陸回数は3,779回で、内訳はグライダーが1,930回と過半数を占め、他は小型機が1,070回、ヘリコプターが776回、大型機が3回となっている。

2003年から2009年まで、最大37席の「サーブ340B」機により毎年1～4便のチャーター便が運航された（うち2003年から2005年は試験期間）。これは、「福井空港利活用推進計画」にある、チャーター便の就航による空港活用の方針を受けたもので、本格運用となった2006年以降は、福井県が「搭乗率保証制度」を導入したが、運航会社の撤退により、2010年以降はチャーター便の運航はされていない。

数十年あるいは数百年に一度といわれる福井豪雨^(※2)では、福井市の市街地を流れる足羽川が決壊し、鉄道が寸断され、道路は川になり、大きな被害が出た。福井市の橋南地区では、足羽川の堤防が決壊した直後から避難する住民が増え続け、地元の小学校や公民館は避難者であふれかえったうえ、夜になっても水が引かず孤立した。また、住宅に取り残された住民も多数あり、ヘリコプター



福井空港ターミナルビル



エプロンでの小型機駐機状況

による救出活動が断続的に続けられた。このときには、福井空港が災害基地として使われた。中部地方の各地から防災ヘリコプターが救援に駆けつけ、自衛隊も派遣され、福井空港から救助や災害復旧にあたった。

(2) 地域防災拠点

福井県警察航空隊の「くずりゅう」と福井県防災航空隊の「ブルーアロー」のヘリコプター2機は福井空港を基地としている。前者は空からの警備や交通パトロールなどの警察活動に従事し、後者は救急活動、遭難者・事故者などの救助活動、森林火災の防御活動、災害時の応急対策活動など

(※2) 福井県嶺北地方に未曾有の被害をもたらした2004年7月18日の集中豪雨



7月18日エプロン状況



7月19日エプロン状況

(出典：福井県福井空港事務所)

に従事している。

福井県では、福井空港を「福井県地域防災計画」のなかで、災害時などにおける迅速な人員輸送、被災者輸送、救援物資輸送、救援機関の受け入れ、防災活動の拠点として位置付けており、1997年に島根県隠岐島沖で発生した原油流出事故の際は、人員輸送に活用された実績もある。東日本大震災の発生により空港の役割が見直されており、福井空港についても防災拠点として整備が進められることが期待されている。

(3) 利活用拡大の支援策

「福井空港利活用推進計画」に示された利活用策のうち、「通勤航空（定期便）」については、策定から10年を経過したが実現に至っておらず、また「チャーター航空」についても現在は休航が続いている。

空港への事業所開設や飛行訓練については、支援制度を策定して、活用促進に努めている。支援のひとつとして、新たに福井空港に事業所を開設した航空事業者に対して、開設後3年間は機体の回送経費を年間1,000万円まで助成し、かつ、着陸料および停留料の9割を減免するという制度がある。飛行訓練に関しては、一度で50回以上の飛



福井県防災航空隊 愛称「ブルーアロー」



福井県警察航空隊 愛称「くずりゅう」

(出典：福井県土木部港湾空港課)

行を伴う飛行訓練に対して、初回は機体の回送経費に対して30万円までの助成を行い、かつ、着陸料および停留料を減免する制度がある。

3. インタビュー

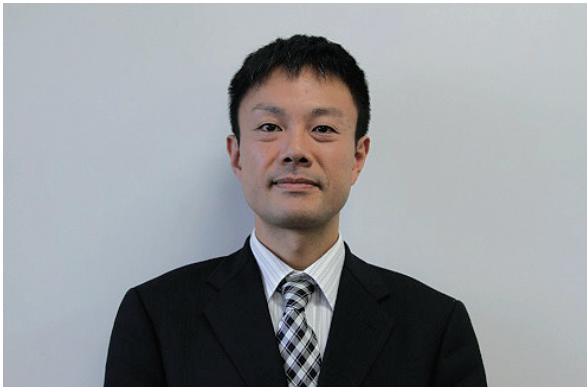
福井県福井空港事務所長 夏井甚一郎氏、同主任 中山裕司氏、および福井県土木部港湾空港課管理グループ企画主査 小山秀則氏の3名にお話を伺った。



福井県福井空港事務所
所長 夏井 甚一郎氏

プロフィール

1978年4月 福井県庁入庁
2009年4月 土木部営繕課参事(計画)
2013年4月 現職



福井県土木部港湾空港課
管理グループ企画主査 小山 秀則氏

プロフィール

1999年 福井県庁入庁
2006年 土木部都市整備課 主査
2013年 現職



福井県福井空港事務所
主任 中山 裕司氏

プロフィール

1986年4月 福井県庁入庁
2010年4月 安全環境部危機対策・防災課主任
2011年8月 現職

福井県の防災拠点としての活用

ー福井空港の概要をお聞かせください。

夏井 現在は、県警と県防災航空隊のヘリコプター基地、中部地方や近畿地方の大学生によるグライダー訓練、県外から来る測量用や航空写真用の小型飛行機の基地などに使われています。また、一般の小型飛行機が何機か駐機されていて、土日・祝日などによく利用されています。土日には、県外から小型飛行機で来て、観光をしていかれる方もおられます。

冬場には天候が悪くなる時もありますが、計器を使った着陸施設や夜間照明がないので、日中の天気の良い日しか使えないことがややネックです。

ー2003年3月に策定された「福井空港利活用推進計画」についてお聞かせください。

小山 この計画には7つの利活用策が示されています。「通勤航空(定期便)」は、策定から10年経過しましたが就航に至っていません。「チャーター航空」は、2003年から2005年に運航試験事業を行い、2006年から搭乗率保証制度を導入して運航を実現しましたが、航空事業者の撤退で、2010年以降は運航がありません。

「防災拠点・公共航空」は、「福井県地域防災計画」において福井空港を災害時の臨時医療施設や防災ヘリコプターの運用拠点とすることが定められています。警察の計画では、災害発生時には他県からの防災ヘリを福井空港に集結させて、警察用航空機の集中運用を図って、不明者の捜索や物資輸送の拠点にすることが定められています。

「産業航空」と「航空関連学校」は、パイロット養成機関にしぼってエアポートセールスを実施し、2008年度には事業者が進出してきた実績があります。「レジャー航空」の一環として、遊覧飛行への補助や親子プラモデル教室などの開催をしています。「イベントスペース」は、2010年に「スカイ・レジャー・ジャパン'10in福井」を開催することができ、来場者数3万人という実績を残しました。ちなみに、例年のスカイフェスの来場者は1万人前後ですので、大きなイベントとなりました。

－災害対応で福井空港が活用された実績があればお聞かせください。

中山 2004年の福井豪雨では、福井空港が災害復旧支援の基地として使われました。中部地方の各地から防災ヘリコプターの応援を受け、自衛隊も派遣され、救助や災害復旧を行いました。

さまざまな利活用策で存在感をアピール

－プライベートジェットの利用実績はいかがでしょう。

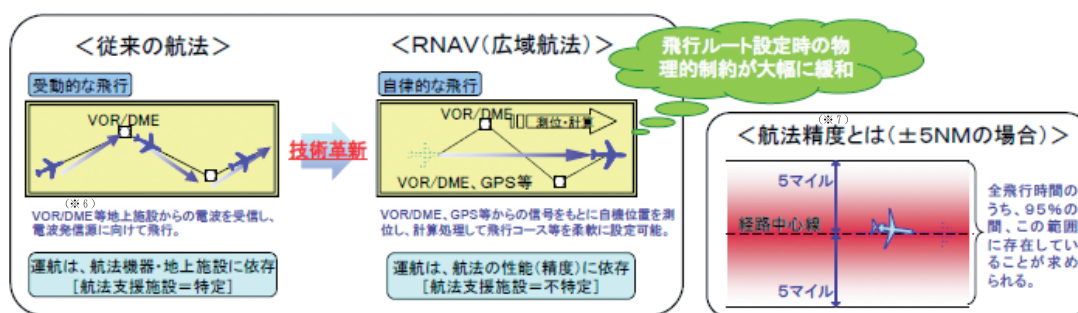
中山 プライベートジェットは、国内機が年に2、3機ほどの利用があります。先日は、小型機が6機来られ、利用者の方は「カニを食べに来た。」と言っておられました。

海外からは、昨年3月に、福井県の国際大使から香港や台湾からのプライベートジェットが福井空港を利用できるかの照会がありました。設備は対応可能ですが、CIQは1か月前の事前申請が必要で、そのあたりがネックになります。CIQを増員していただければ、利用促進をPRできるのですが。

また、2011年にNDB（中波を用いた航空機誘導の無線標識）が廃止になり、RNAV方式に変更になりました。このため、チャーター便を運航していた会社が再開を躊躇している面もあります。

－企業誘致の具体策についてお聞かせください。

中山 空港敷地内に事業所を開設した企業へは、3年間は機体の回送経費を上限付きで助成しています。また、訓練で50回以上の飛行を行う場合には、回送経費を30万円を補助します。これを受け



(※6) 超短波全方向式無線標識施設 (VOR: VHF Omnidirectional Range) とは、VHF帯 (超短波帯) の電波を用いる航空機用無線標識。標識局を中心として航空機がどの方向にいるかを知ることができる。
(※7) 航法精度とは、航空機が経路に沿って飛行する際の航法の正確性を数値で示したものである。例えば、航法精度±5 NM (9 km) とは、殆ど (95%) の飛行時間において経路中心線から5 NM以内で飛行すること。 (出典: 国土交通省公表資料)

(※3) Customs, Immigration and Quarantineの略で、税関、出入国管理、検疫のこと。出入国の際に必要なとされる三つの手続きの略称。
(※4) 無指向性無線標識のことで、Non-Directional (Radio) Beaconの略。主に中波を用いて航空機を誘導する無線標識。標識局を中心として航空機がどの方向にいるかを知ることができる。これを利用するためには航空機側にADF (自動方向探知機) が必要である。近年では同様の情報が得られより精度が高いVORにほとんど置き換えられた。
(※5) 近年の航空機が高機能なFMS (航法用機上コンピューター) を搭載すること等により高い航法能力を有していることを利用した航法であり、地上施設 (VOR/DME等) の配置に左右されることなく柔軟な経路設定が可能な運航方式である。

て2008年には、名古屋のセントラルヘリコプターサービス株式会社が事務所を開設しました。

ただし、ヘリコプターの騒音問題対策として、「ホバリングは1日に20分以内」という条件がつくため、難色を示す企業も多いです。

—空港の果たす役割や空港の地域貢献について、アピールしていただく点があればお聞かせ下さい。

中山 防災基地としての活用という面では、災害時に負傷者の搬送、受入れが県内の医療機関で対応しきれない時に、ヘリコプターを活用して患者を県外へ搬送することになっており、福井空港が広域医療搬送拠点として位置付けられています。そのため、患者の症状の安定化を図り、搬送のためのトリアージを実施するための臨時医療施設（SCU）として、災害用資機材を備蓄したコンテナ2基を空港敷地内に設置してあります。

夏井 県内のどの地域へも福井空港から30分以内で到達できることは、災害時の対応拠点としての大きな利点です。

中山 雨で中止になりましたが、今年の夏には滑走路ランニングを企画しました。また、2012年のスカイフェスでは、初めて「ランウェイ・ウォーク」を実施したところ好評でした。

供用中の空港でのイベントとしては異例だと思いますが、滑走路を使用して金沢工業大学の「ソーラーカープロジェクト」が、ソーラーカーを試走させたことがあります。また、滑走路を使って音楽のプロモーションビデオを撮影したいという問い合わせもあります。定期便が就航していない閑散とした空港ですが、今後も多様な活用を展開したいと考えており、滑走路を使ったさまざまな活用策が企画できることは魅力だと思います。



「ソーラーカープロジェクト」(出典：福井県福井空港事務所)

福井空港概要（2013年6月現在）

位 置	福井県坂井市	
空 港 種 別	地方管理空港	
設置管理者	福井県	
開 港 時 期	開 港	1966年6月30日
ア ク セ ス	電 車	J R西日本 春江駅（自動車5分）
	バ ス	—
供 用 時 間	8時間（9：00～17：00）	
基 本 施 設	面 積	27ヘクタール
	滑 走 路	1,200m×30m（18/36）
	駐 機 場	1バース
付 帯 施 設	駐 車 場	170台（無料）
関 係 団 体	福井空港振興協議会	
就航航空会社	国 内	—
	国 際	—
就 航 便 数	国 内	—
	国 際	—
就 航 都 市 数	国 内	—
	国 際	—
窓 口	福井空港事務所	
	福井県坂井市春江町江留中	0776-51-4066
	福井空港振興協議会	
	福井県坂井市春江町江留中	0776-51-4066
	http://www4.ocn.ne.jp/~fukui-ap/	
方 針 ・ 戦 略 等	福井県土木部港湾空港課	
	福井県福井市大手3丁目17番1号	0776-20-0488
	http://www.pref.fukui.jp/doc/kouwan/airport/airport01enkaku.html	
方 針 ・ 戦 略 等	福井空港利活用推進計画 http://www.pref.fukui.jp/doc/kouwan/airport/ap6suisin_d/fil/001.pdf	
就 航 都 市	無	
就航航空会社	無	
そ の 他	定期航路がない故に可能なイベント開催。 航空写真、遊覧飛行等の小型機の基地として、またグライダーの訓練に使用されているほか、県警および県防災ヘリコプターも配備されている。	

II. 県営名古屋空港 —新しい都市型総合空港—



(出典：県営名古屋空港協議会)

1. 概要と沿革

(1) 開港の経緯

2005年に中部国際空港が開港したことに伴い、県営名古屋空港は愛知県営の空港として再スタートした。通称は、「県営名古屋空港」であるが、空港法では「その他の空港」に区分され、正式名称は「名古屋飛行場」である。

空港の敷地は、愛知県の小牧市、春日井市、名古屋市（北区）、豊山町の3市1町にまたがり、ターミナルビルは豊山町にある。

名古屋市中心部から北へ約15kmの位置にあり、長らく東海地方の空の玄関口としての役割を担ってきた。前身は小牧飛行場で、第二次世界大戦中に陸軍が農地を強制買い上げし、近隣住民の勤労奉仕により1944年に1,500mの滑走路で開港した。戦後は米軍に接収され、米軍の管理のもとで滑走路が現在の2,740mに延長され、面積も拡大された。1958年9月に米軍から正式に返還され、民間と防衛の共用飛行場となり、1960年4月には空港整備法による第二種空港に指定され、名称も名古屋

空港に改められた。以後、日本の拠点空港のひとつとして発展した。

その後、21世紀初頭には空港容量が限界に達するという予測のもと、24時間利用できる新しい空港（中部国際空港）の建設に向けた取り組みが始まった。

中部国際空港への定期航空路線の一元化を前提に事業推進を図ることとされたのに対して、空港周辺の住民や空港所在地の自治体から、空港の自衛隊基地化や地元経済の疲弊などによる影響が懸念され、国内線の存続も含めた調整が愛知県に求められた。それを受けて、愛知県、周辺市町、地元経済団体、学識者で構成する「名古屋空港将来構想検討会議」が設けられ、「ゼネラル・アビエーション^(※8)空港」としての活用が浮上した。

1999年4月には、「名古屋空港の活用及び周辺地域振興基本構想」が取りまとめられ、その構想の具体化を図るため、東海3県、周辺市町等からなる「GA空港基本計画検討委員会」が設置され、名古屋空港をコミューター航空、ビジネス機、小型常駐機の拠点空港および広域防災拠点としての

(※8) ゼネラル・アビエーション (General Aviation(GA)) とは、航空機による飛行のうち、軍事目的と定期航空路線を除くあらゆる活動の総称であり、報道機関の取材活動、司法警察・消防・防災機関等の空中パトロール、捜索救難、ドクターヘリ、民間での操縦訓練、学術用の航空観測・航空写真撮影、遊覧飛行、農業における空中散布（種・肥料・農薬など）、コミューター航空、不定期貨物便、ビジネス機・自家用機、グライダー等の航空スポーツと目的別により分類される。

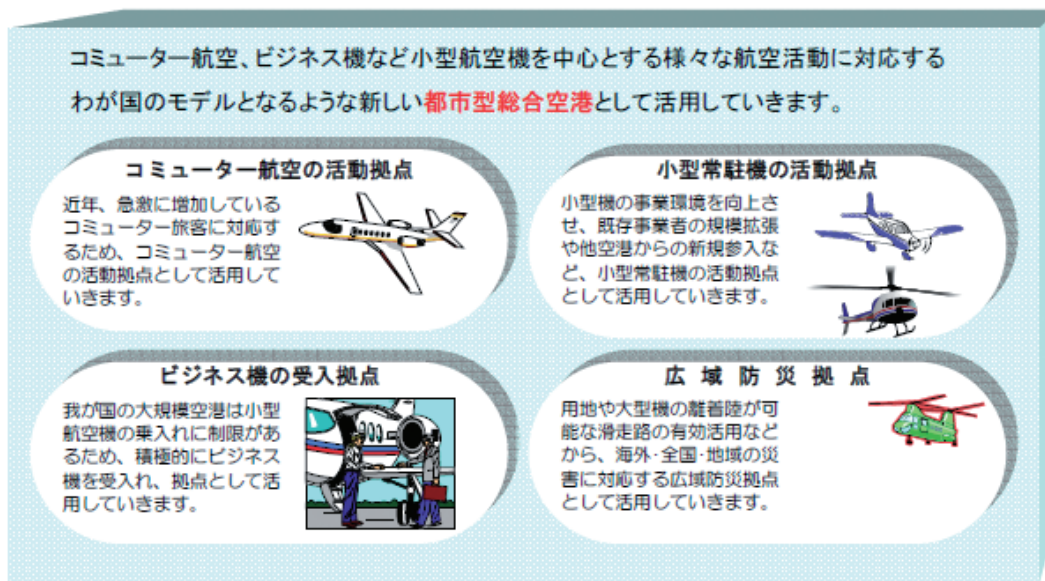
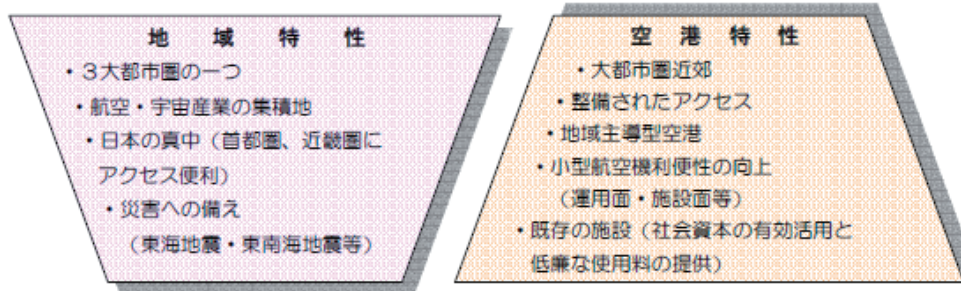
機能を加えた、新しいタイプの空港としての活用が提言された。

これを受け、愛知県は2003年3月に「名古屋空

港新展開基本計画」を策定、2005年2月17日に、わが国初の本格的な小型航空機の利用を中心とする「都市型総合空港」として開港した。

名古屋空港新展開の基本コンセプト

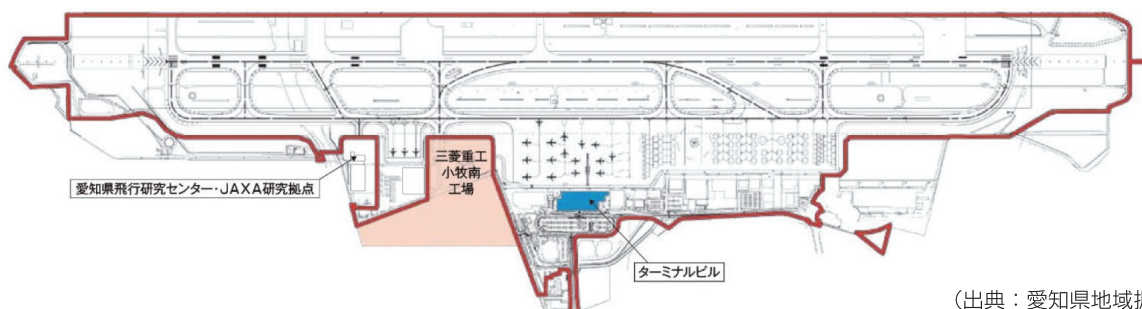
名古屋大都市圏の地域特性、空港本来の特性、複数空港システムによる航空輸送サービスの最適化などを踏まえ、次のような基本コンセプトにより、新たに空港を展開していく必要があります。



(出典：愛知県地域振興部)

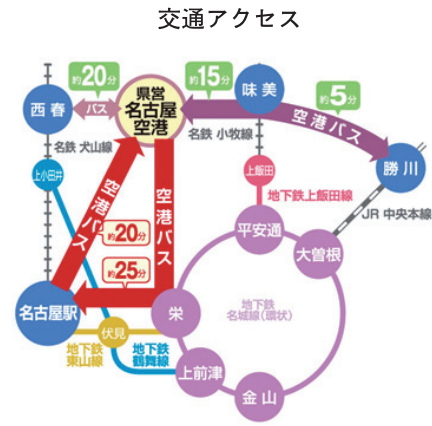
(2) 施設の概要

名古屋空港の概要



(出典：愛知県地域振興部)

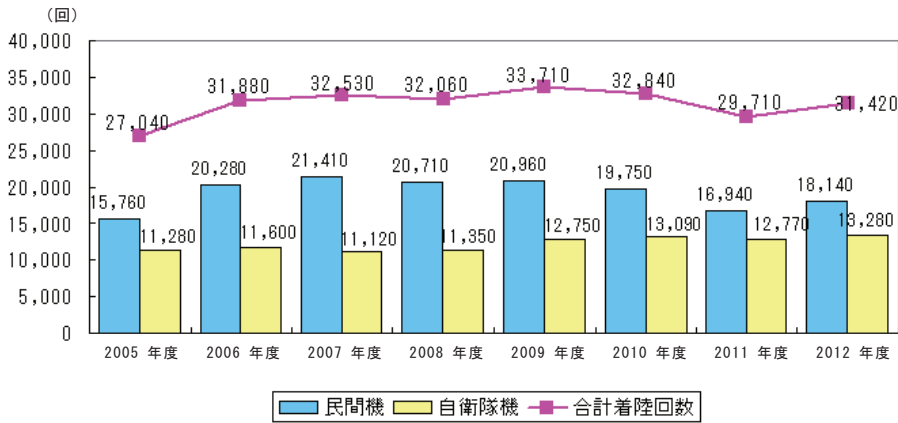
- 1) 指定管理者 名古屋空港ビルディング株式会社
- 2) 標点の位置・標高
北緯 35°15' 18"
東経 136°55' 28"
標高 14m
- 3) 飛行場の種類 陸上飛行場
- 4) 滑走路の強度 単車輪荷重：43 t
- 5) 滑走路の方位 真方位：N27°34' 41W
- 6) エプロン 面積：約22ha
- 7) 航空灯火 精密進入用 (CAT-I)
- 8) 航空保安無線施設 ILS, VOR/TACAN (国土交通省管理)
- 9) 管制業務 防衛省による飛行場管制業務・着陸誘導管制業務
- 10) 空港施設 旅客ターミナルビルの1階フロアを使用
国内初のフィンガーコンコースにより平面移動で飛行機に搭乗できる



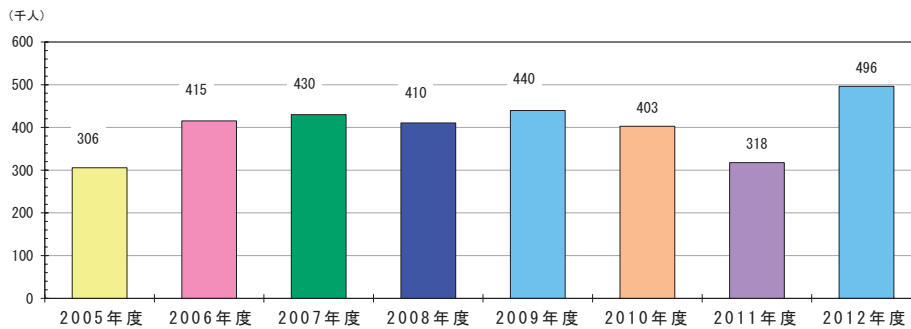
2014年3月現在
(出典：愛知県地域振興部)

(3) 利用状況 (出典：愛知県地域振興部)

発着回数の推移



通勤航空旅客の推移



国際ビジネス機の飛来機数

年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
飛来機数	90機	119機	143機	97機	67機	69機	65機	69機
機体の国籍	米国: 57 中国: 10 日本: 5 その他: 18	米国: 104 中国: 3 日本: 2 その他: 10	米国: 122 日本: 1 中国: 1 その他: 7	米国: 86 日本: 3 中国: 1 その他: 7	米国: 58 日本: 1 中国: 1 その他: 7	米国: 57 日本: 5 中国: 2 その他: 5	米国: 47 日本: 12 その他: 6	米国: 50 日本: 14 その他: 5

2. 県営名古屋空港の特色

(1) コミューター航空及び小型航空機の拠点

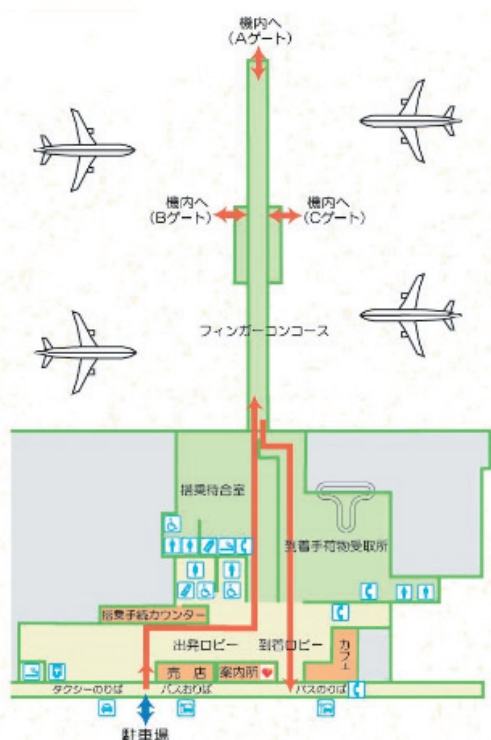
県営名古屋空港では、通勤航空の出発・到着に必要な施設をすべてターミナルビル1階にコンパクトに設置することにより、ターミナルビル入り口から搭乗ゲートまで最短で200mという

短い旅客導線が実現されている。

また、ターミナルビルと旅客機との間に、日本初の屋根付き搭乗通路「フィンガーコンコース」が設置され、安全かつ快適な乗降が可能となっている。

なお、現在は、株式会社フジドリームエアラインズが1日あたり6路線14往復（2013年冬）を就航している。就航路線は、青森便（2往復/日）、いわて花巻便（2往復/日）、新潟便（1往復/日）、高知便（1往復/日）、福岡便（5往復/日）、熊本便（3往復/日）であり、2014年3月30日から山形便が新規就航（1往復/日）するとともに、いわて花巻便が1便増便して3往復/日となる。

小型航空機についても、2013年6月現在約90機が常駐し、警察や消防防災での航空活動や報道取材や測量等の航空事業の拠点としての役割を担っている。

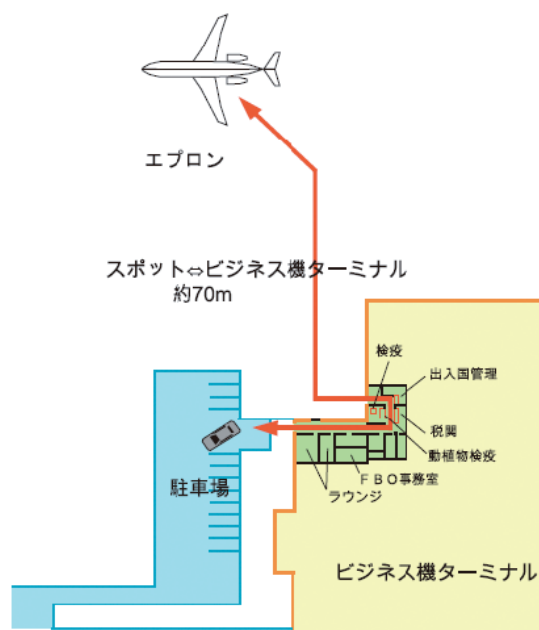


(2) ビジネス機の拠点

県営名古屋空港は、日本初の本格的なビジネス機の拠点空港として、ビジネス機旅客のみが利用できる、高いプライバシーとセキュリティを確保したビジネス機専用ターミナルを整備している。

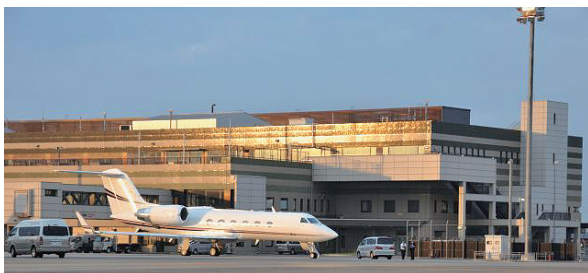


(出典：愛知県地域振興部)



(出典：県営名古屋空港協議会)

駐機場からターミナルまでは最短70m、ターミナル内では、税関、入管、検疫（CIQ）が一つの部屋で行われ、ビジネス機旅客は、短い導線でターミナル隣接の専用駐車場まで移動し、最終目的地に向けて出発することができる。

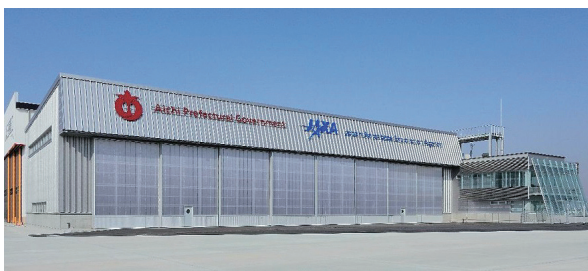


(出典：県営名古屋空港協議会)

(3) 航空自衛隊小牧基地が隣接

県営名古屋空港には、航空自衛隊小牧基地が隣接している。第1輸送航空隊をはじめとした各部隊が、小牧基地のエプロン、誘導路に直接接続した県営名古屋空港の滑走路を使用して、日々、活動を行っている。

(4) 航空宇宙産業の拠点



(出典：宇宙航空研究開発機構)

県営名古屋空港及びその周辺地域は、国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の区域に指定され、航空機の生産・整備拠点を形成するプロジェクトが進められている。

また、空港隣接地では、独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）が立地し、航空宇宙分野に関する研究開発が進められている。

(5) 旧国際線ターミナルの商業施設への活用

県営化後は使用されていなかった旧国際線ターミナルを活用して、2008年に大型ショッピングモールの「エアポートウォーク名古屋」が開業した。これは、全国で初めて空港施設を他の業種に転用した事例となった。ユニー株式会社が管理・運営し、シネマコンプレックスも併設した。施設内から空港が見えるだけでなく、名古屋空港時代に設置されていた展望デッキもそのまま使われている。



(出典：愛知県地域振興部)

3. インタビュー

今回は、愛知県地域振興部空港長 坂井秀壽氏、愛知県地域振興部航空対策課主幹 坂田一 亮氏、名古屋空港ビルディング株式会社代表取締役社長 小寺洋夫氏の3名にお話を伺いました。



愛知県地域振興部空港長
坂井 秀壽氏



愛知県地域振興部航空対策課主幹
坂田 一 亮氏



名古屋空港ビルディング株式会社
代表取締役社長 小寺 洋夫氏

愛知県の直営空港

ー空港の概要についてお聞かせください。

坂井 この空港は愛知県庁の中では、愛知県地域振興部の航空対策課が運営を担当しています。名古屋空港事務所は、空港長である私を含めて15名で空港の運営管理、施設整備等を行っています。空港の運用は365日、午前7時から夜10時までです。ので、交代で勤務しています。

県営ということで、県の施策とストレートに関連付けた施策が可能であるなど、さまざまな取り組みが実施できます。

ー施設整備の実施、展開についてお聞かせください。

坂井 開港当初は従来からある設備を活用しておりましたが、年々、施設の更新を図ってきました。全国的に珍しいものとしては、2005年に採用した小型機専用コンコース「フィンガーコンコース」があります。かつては航空機まで徒歩移動かバス送迎でしたが、これにより雨に濡れずに移動できるようになり、たいへん好評をいただいております。

必要に応じて滑走路や管理施設の補修工事を実施し、さらに、立体駐車場や駐機場の整備も、航空機生産・整備拠点の整備と関連して実施していきます。

ー開港から8年が経過しましたが、近年の施設面での改善点があればお聞かせください。

坂井 県営化した当初は、ターミナルビルの展望デッキを閉鎖していましたが、2012年7月に再オープンしました。料金は無料です。現状では月平均1万人ほどのお客さんがあり、遠足などのお子さんなどの来客もあって2013年10月までの累積では約16万人の来場者がありました。

ー除雪の体制についてお聞かせください。

坂井 降雪期には、「除雪対策会議」を開催して関係者間で除雪実施マニュアルなどを確認してお

ります。12月中旬から3月下旬までは除雪機材を常駐させて対応しておりますが、2011年、2012年は除雪の実績はありませんでした。この空港は風雪の影響が少なく、そういう面でも使いやすい空港と言えるのではないかと思います。

指定管理者制度について

— 県営名古屋空港の指定管理者である、名古屋空港ビルディング株式会社の会社概要についてお聞かせください。

小寺 弊社は1957年4月の創立です。「名古屋の空の玄関」ということで、名古屋商工会議所の会頭が中心となり、愛知県、名古屋市、中部財界の皆さんにより会社が設立され、同年9月には羽田に次ぐ全国2番目の空港ターミナルビルを完成させました。1964年には2代目のターミナルビルが完成しました。この頃は高度経済成長の真っただ中で、海外渡航が自由化された年でもあります。続いて、1967年には国際線専用のターミナルビルが完成しました。現在も使用している新国内線ターミナルビルが完成したのは1985年7月です。また、1999年4月には新国際線ターミナルビルが完成しました。

弊社はそれら2つのビルを所有、運用してきましたが、2005年の県営化を機に、国内線ターミナルビルを愛知県に譲渡しました。その後は県の指定管理者として空港の管理・運営に携わっています。国際線ターミナルビルは、2008年からユニーク株式会社に借りていただき、大型商業施設「エアポートウォーク名古屋」として活用されています。

当社の組織は、総務部、空港管理部（空港の維持管理等の指定管理業務の実施）、旅客ターミナル部（レストラン・売店・案内所などの運営）、企画管理部（不動産賃貸と空港利用促進）の4部署で、職員数は派遣社員、パートを含めて68名です。57年間、空港ターミナルの運営、テナントの管理などを行っており、ビル運営や空港管理のノウハウがあります。

— 空港ターミナルを転用した商業施設は全国的にも珍しいですね。

小寺 もともとの空港ターミナルビルに少し手を加えて大型商業施設として活用するのは、全国で初めての事例です。

— 2014年に指定管理者の指定期間が終了しますが、その後はどうなりますか。

坂井 民間活力を活用した空港運営に関する法整備や航空産業の拠点など、県営名古屋空港の特徴を反映するというようなことも含めて、総合的に検討を行っているところです。

防災拠点、航空宇宙産業拠点として

— 東日本大震災の際に福島空港が利用されるなど、空港の活用が見直されていますが、防災面についてはいかがでしょうか。

坂田 東日本大震災では、自衛隊の輸送部隊が支援物資の輸送拠点として活用しました。名古屋空港は、「愛知県地域防災計画」において航空広域防災活動拠点に指定されており、災害時には空輸の拠点として重要な役割を担います。また、国の中央防災会議が定めた「東海・東南海地震応急対策活動要領」でも広域医療搬送拠点に定められています。さらに、2012年に国、県、学識経験者、地元経済界などで構成された「東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議」においても基幹的防災拠点の候補地に位置付けられ、検討されています。当空港としては、今後も防災拠点としての役割も発揮していきたいと考えています。

— 空港の利活用方針に関連して、企業誘致などの取り組みがあればご紹介ください。

坂田 愛知県は、自動車産業に次ぐ基幹的な産業として航空宇宙産業の振興に力を入れています。2011年12月に国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の指定を受け、現在、空港用地及び空港隣接地において航空機生産・整備の拠点事業を進めています。

利用促進と地域との連携

ー利用促進、利活用方針についてお聞かせください。

坂田 この空港は、地元の自治体や住民の皆さんなどいろいろな方々に支えられています。支援組織として、地元自治体、経済界を中心に158団体で構成される「県営名古屋空港協議会」があります。会長を名古屋商工会議所の会頭、副会長を愛知県副知事と名古屋市副市長、春日井市長、小牧市長、豊山町長に務めていただき、事務局を名古屋商工会議所に引き受けていただいております。この協議会を中心に、就航先の自治体や空港ビル、航空会社とも連携して、さまざまなPR活動を実施しています。具体的には、路線展開の状況や空港の使いやすさなどを周知するポスターやチラシの作成、愛知県内で開催される集客イベントへのブース出展などが挙げられます。

坂井 当空港は、「名古屋空港新展開基本計画」に基づき、中部国際空港からの就航が難しい需要の少ない地域への路線就航を基本とし、中部国際空港と連携・補完することで、この地域の航空ネットワークの充実を目指しています。名古屋空港にすでに就航している最も新しい路線は、2013年3月31日に就航した高知線です。

小寺 県をはじめFDAさんや地元の関係者の皆様などと一緒にセールスすることが基本ですが、独自の動きとしては、空港アクセスバスの時刻表やポスターの作成・配布・掲示、新聞などメディアやホームページを使ったPR、鉄道沿線地域や就航先などへの訪問活動を行っています。ターミナルビル1階にあるレストランでは、地元PR策の一環として以前から味噌カツ、天むすなどの「名古屋メシ」を提供しています。また、新規路線の開設時や連休、お盆、年末年始などを中心に、地域や就航先の特産品を集めたフェアなどを開催しています。

2013年2月には、多くのご要望を受けて銀行ATMを再設置しましたし、先ほど坂井さんがおっしゃられたように、2012年7月には展望デッキを

再開しました。ビルが狭いため、待合室にこれといった施設はありませんが、月に1、2回程度、名古屋芸術大学の学生さんやOB・OGの皆さんにお願いしてロビーコンサートを開催しています。また、上海やアメリカなどで開催されるビジネスジェットの展示会に愛知県もブースを出すときには、弊社も同行してエアポートセールスを展開しています。

ービジネス機の利用促進も積極的に行っておられるようですね。CIQに関してはいかがでしょうか。

坂田 外国籍航空機の指定外飛行場への離着陸許可及び本邦内で発着する旅客運送許可の申請期間については、「10日前まで」から「3日前まで」に短縮されました。CIQ手続きに関しても、関係者間において「2週間前まで」から「3日前まで」に短縮することが合意されたことにより、格段と利便性が改善されました。医療搬送などは、24時間までの申請が可能となっております。

ーこの地域における空港の役割、これからの方針、将来像についてお聞かせください。

坂田 これまで申し上げたように、この空港は地元や関係者の皆さんに支えていただきながら運営してきました。これからは、地域振興の核という役割だけでなく、航空機産業の生産拠点という位置づけも新たに加わります。地域と産業の活性化の役割を担いつつ、防災拠点としての役割も果たしながら運営していきたいと思っています。

コピューター航空の活動拠点という役割をはじめ「名古屋空港新展開基本計画」に掲げたコンセプトは着々と実現しています。今後も、「名古屋空港新展開基本計画」で掲げられた4つのコンセプトが運営の基本とし、空港そのものは限られた用地しかありませんので、さまざまな課題の折り合いを付けながら進めていきたいと思っています。

－地元自治体との関わりについてお聞かせください。

坂井 日頃から地元自治体とは情報交換を密にしており、円滑な運用にご協力とご理解をいただいております。地元からは、安全運航の徹底などをご要望いただいております。

－そのほかPR点があればご紹介ください。

小寺 私たちは、株式会社とはいえ第三セクターですので、事業フィールドは空港およびその周辺に限られます。そのなかで事業をどう展開するかが今後の課題です。今後も、地元の皆さんと一緒に利用促進や地域振興を行っていきます。これからも、お力添えをいただければと思います。

名古屋飛行場（通称：県営名古屋空港）（2014年3月現在）

位 置	愛知県西春日井郡豊山町	
空 港 種 別	その他の空港	
設置管理者	愛知県	
開 港 時 期	開 港	1960年2月（2005年2月17日県営空港化）
ア ク セ ス	http://www.nagoya-airport-bldg.co.jp/access/index.html 電 車 名古屋駅（JR東海・名鉄・近鉄・名古屋市営地下鉄）（バス約20分） JR東海 勝川駅（バス約20分） 名古屋鉄道 西春駅（バス約20分） バ ス 3路線 多便	
供 用 時 間	15時間（7：00～22：00）	
基 本 施 設	面 積	171ヘクタール
	滑 走 路	2,740m×45m（16/34）
	駐 機 場	94バース（通勤用・ビジネス機用 19バース、小型機用75バース）
付 帯 施 設	駐 車 場	1,045台 （有料＜通勤用・航空利用者は120時間（5日間）無料＞）
関 係 団 体	県営名古屋空港協議会	
就航航空会社	国 内	1社
	国 際	—
就 航 便 数	国 内	15便（日）
	国 際	—
就 航 都 市 数	国 内	6都市
	国 際	—
窓 口	愛知県地域振興部航空対策課 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 052-954-6129 http://www.pref.aichi.jp/kouku/ 名古屋空港ビルディング株式会社 愛知県西春日井郡豊山町名古屋空港内 0568-28-1221 http://www.nagoya-airport-bldg.co.jp/index.html	
方針・戦略等	名古屋空港新展開基本計画 http://www.pref.aichi.jp/0000005872.html	
就 航 都 市	国 内	福岡・熊本・青森・花巻・新潟・高知
就航航空会社	国 内	フジドリームエアラインズ
そ の 他	通勤用・航空、ビジネス機など小型航空機を中心とするさまざまな航空活動に対応するわが国のモデルとなるような新しい都市型空港として活用していく。（「名古屋空港新展開基本計画」 愛知県）	